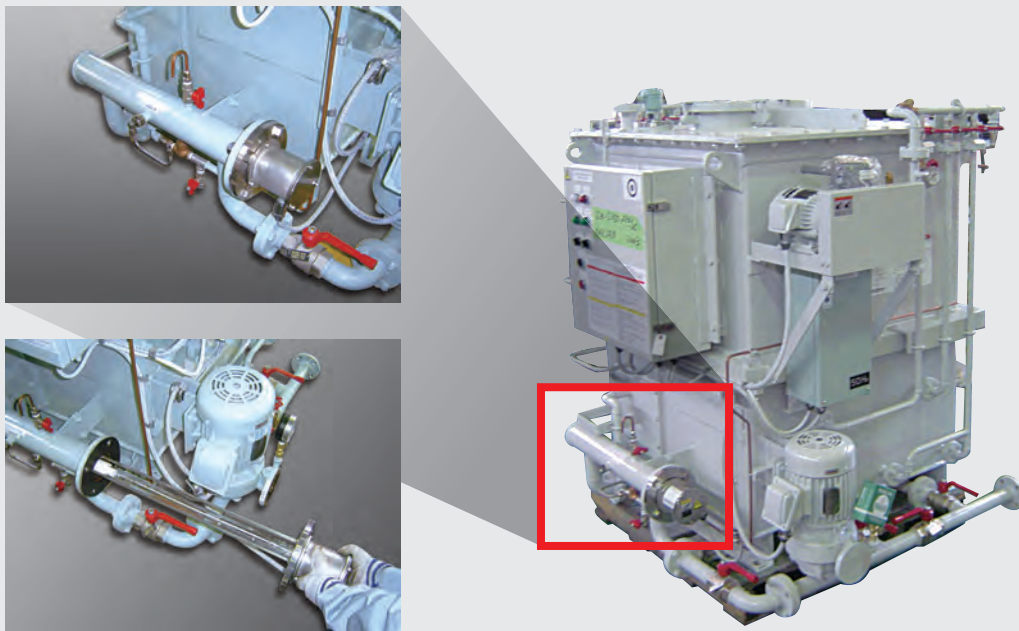


お客様各位

汚水処理装置 (SBH型) 用UVランプの交換について



平素は、当社の製品をご利用頂き有難うございます。
汚水処理装置 (SBH型) に設置しておりますUVランプの交換時期に対し頻繁に頂くご質問につきまして、下記の通りご連絡させていただきます。

1. UVランプの目的

UVランプは、処理水に紫外線を照射させることで殺菌を行ない、処理水の大腸菌群数をIMOの排出基準 (MEPC.159(55)/227(64)) 以下に処理します。

2. UVランプの交換時期

UVランプの平均寿命は連続点灯で約1年です。これを超えて使用されると、殺菌性能が著しく低下し排出基準を満足できなくなります。**※ UVランプは使用後1年を超えても減灯、点滅、消灯はしません。必ず1年以内にUVランプの交換を行なって下さい。**

3. 注意事項

交換するUVランプは必ず純正品を使用してください。大晃機械工業株式会社は他社にUVランプの製造を許可もしくはライセンス契約を行った事はございません。OEM製品は存在せず、純正品か無許可のコピー商品となります。

各検査機関による、弊社汚水処理機の型式承認取得テスト時には、純正品を搭載してのみ試験を行っております。無許可のコピー商品を使用した場合、それらの型式承認証書の有効性には疑義が生じます。また、弊社は純正品を搭載しない汚水処理機を自社製と認めていませんので、弊社に対する製造許可書である型式承認証書は無効です。

UVランプの照度が低下した場合、純正以外のUVランプを使用した場合などは十分な処理能力が得られないことが有ります。本装置はIMOの排出基準 (ME-PC.159(55)/227(64)) に基づくPSCの管理対象機種です。適正な排出性能維持の為UVランプは1年に1度の定期交換を推奨します。
(型式承認機関: MED EC諸国、CCS 中国、CR 台湾、JG 日本)